

Fusyo Collaboration letter

9月1日 No.23 文責 廣田 秀俊



全学級でコミュニケーション力 UP！

各学級でのフリートークの時間が始まります。さまざまなお題に反応し、子供たちがトークを進めていきます。学年、学級によって違いがあり、進級することにより厚みが増していきます。

低学年のトークでは、好きなもの・やってみたいことなどがよくお題にあがってきます。“好きな〇〇”“夏祭りに食べたいもの”“好きな色”等、ある日のそれぞれの学級で話に花が咲いていきました。ニコニコ笑顔で聞き合っています。

中学年では、比較が入ったり自分たちを振り返ったりしながら話していくことも多くなっていきます。例えば、“〇年〇組のいいところ”“夏と冬どっちが好き？”“夏祭りで必ずすること”など、身近なことや経験したことを自己開示していています。

高学年では、これまでの経験を活かしながらブラッシュアップしたユニークなお題や工夫したものが生まれてきます。“〇〇先生をアニメキャラに例えたら？”“和食と洋食どっちが好き？”など、あるクラスでは質問フリートークと題し、主役を決めてその人に質問をしながらトークを続けていく実践を始めていました。フリートークを通じて、どの学年もコミュニケーションの質をあげていています。

ほめ言葉のシャワーも本校で取り組んでいる学級を支えていく活動の一つです。互いのよさを伝えながら、相手を知り認めていくものです。自分にしか言えないエピソードや主役の子を追う1日など、言葉の受け手も話し手も特別な時間となっていきます。

低学年のフリートークでは、どんなほめ言葉が出てくるのか、仲間の言葉に耳を傾け、マネしたり少し付け加えたりしながら、主役を称えていこうとしています。「靴をしっかりとそろえていた」「元気よく挨拶をしていた」「いつでも話を聞いてくれる」「アイデアが豊富」など、伝えたい事柄を一つずつ確かめて話していました。

中学年では、相手のよさをしっかりと根拠付けながら伝えていています。「なぜかという～だからです」という具体的な場面を添えて話しています。「いつもポジティブ」「常に挑戦している」「アドリブ力がすごい」など、みんなで参加し真心込めた言葉が教室にあふれていきます。

高学年でも相手を大切に言葉で教室に幸せを届けています。意外な一面を伝えたり、ほめ言葉のシャワーを聞き、主役の新たな一面を知ったりして、教室が笑顔になっていきます。「実行力」「責任感」「リーダーシップ」という言葉や「太陽みたいな人」「クラスを進化させる人」「分かりやすく教えてくれる人」「誰とでも話す人」等、ほめ言葉の宝箱が増え続けています。

